

平成 30 年 3 月 15 日

一関市議会議長 槻山 隆 様

一関市議会 議会運営委員会
委員長 勝浦 伸行

平成 29 年度市民と議員の懇談会における市議会に対する意見及び要望について
2 月に開催した市民と議員の懇談会において、市議会に対して下記のような意見や要望
をいただきました。

このことについては、担当する当委員会で、その対応を調査し、議会だより等で回答する
予定としておりますので、報告します。

記

- ① 議会、議員の役割は行政の監視である。
- ② 議員の視察での調査が施策に具体的に反映するように期待する。
- ③ 議会傍聴者が少ない。市民の関心の喚起のために、事前に質問内容の周知が必要である。
- ④ 議会の質問の際に、事前に回答を得て、質疑を深めるようにされたい。
- ⑤ 懇談会開催時期、時間の設定が悪い。
- ⑥ 市議会だよりの文字が小さく、読みにくい。
- ⑦ 懇談会について、市長へ提言しているが、その後、議会ではどのように進めているのか。
- ⑧ 各会派での視察等は、会派でなく全議員で実施してはどうか。
- ⑨ 年間、議員にかかる費用はいくらか。
- ⑩ 合併後、財政状況が悪化している。財政問題に対する認識が議会は希薄ではないか。
財政について勉強が必要である。
- ⑪ 議長が就任のインタビューで『議員定数は削減ありきではない』と述べているが、議長の
立場としては、議会のなかの議論をまとめてからの発言とするべきである。
- ⑫ 夜間や休日の議会開催を。
- ⑬ 懇談会の結果について、報告をされたい。
- ⑭ 政務活動、視察などの報告がない。また、調査結果を実現するよう努力すべきである。
- ⑮ 懇談会の持ち方について工夫が必要である。